

# 日本NIE学会会報

第 37 号

[発行所] 日本NIE学会事務局

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1 横浜国立大学教育人間科学部 重松克也研究室内

TEL/FAX : 045-339-3433 E-mail : jssnie2005@gmail.com

## 日本NIE学会第14回宇治大会のご案内（二次案内）

### 大会テーマ：地域連携とNIEの可能性

### —「社会に開かれた教育課程」を見据えて—

日本NIE学会会長 阪根 健二

第14回宇治大会実行委員長 橋本 祥夫

初秋の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと推察申し上げます。

このたび、日本NIE学会第14回全国研究大会を、京都府宇治市の京都文教大学にて開催することとなりました。

小学校・中学校の次期学習指導要領が告示され、各教育委員会や学校では、それに向けた対応に追われているところだと思います。今回の改訂の理念の一つに、「社会に開かれた教育課程」の実現があります。中教審の論点整理では、「社会に開かれた教育課程」として、以下の3点をポイントに挙げています。

- ① 社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと
- ② これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育ていくこと
- ③ 教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること

以上の視点に立ったとき、NIEが果たすべき役割は何でしょうか。①については、新聞を通じて社会や世界の状況を理解し、考え、学校と社会がよりよい社会を創り出すという目標を共有していくことはできないでしょうか。②については、社会や世界に向き合い関わり自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力を、新聞だからこそ育成できるのではないのでしょうか。③については、新聞社が持つ人的・物的資源を活用することにより、学校と社会との連携をさらに促進することはできないでしょうか。

本大会では、「地域連携とNIEの可能性—「社会に開かれた教育課程」を見据えて—」としました。これまで各新聞社は、地域の実態に合わせて学校と様々な連携をし、NIEを推進してきました。また、地域への情報発信という視点をこれまで新聞社は大事にしています。これまでの新聞社の取組、NIEの実践を地域連携の視点から見直し、「社会に開かれた教育課程」にどのように結び付けていけるのか、会員の皆様と共に議論を深められればと考えています。

皆様の本大会へのご参加を、心よりお待ちしております。

## I 大会要項

主催 日本 NIE 学会

後援 京都市教育委員会 京都府教育委員会 宇治市教育委員会（申請予定）  
京都市小学校 NIE 実践研究会 京都市立中学校新聞教育・NIE 研究会  
京都府 NIE 推進協議会

1 期日 平成 29 年（2017）年 11 月 25 日（土）～ 26 日（日）

2 会場 京都文教大学  
（〒 611-0041 京都府宇治市槇島町千足 80 京都文教大学キャンパス構内）

### 3 参加費

大会参加費：事前申し込みは 3,000 円，当日申し込みは 3,500 円  
学生・院生は 1,000 円

情報交換会（懇親会）参加費：5,000 円（会場の設営上，ご予約をお願いいたします。人数に余裕がある場合に限り，当日受付を申し受けます。）

4 テーマ 地域連携と NIE の可能性—「社会に開かれた教育課程」を見据えて—

### 5 日程

第 1 日目 11 月 25 日（土）

11:00	11:30	12:30	13:30	15:30	15:45	17:45	18:00	19:30
理事会 受付	理事会 光暁館 第一会議室	総会 弘誓館 G101	シンポジウム 地域と結ぶ NIE の 可能性 弘誓館 G101	移動	研究分科会① 普照館 F306 研究分科会② 普照館 F304 ワークショップ 「しんぶんカフェ」 普照館 F305	移動	情報交換会 (懇親会) 恵光館学生食堂	
	一般受付							

第 2 日目 11 月 26 日（日）

8:30	9:00	12:00
受付	自由研究発表 普照館 F301 ～ F306	

## Ⅱ 大会概要

11月25日(土)

**理事会** 11:30～12:30 (光暁館第一会議室)

**総会** 12:30～13:30 (弘誓館 G101)

**シンポジウム 13:30～15:30** (弘誓館 G101)

テーマ：「地域と結ぶ NIE の可能性」

シンポジウムの趣旨：

NIE は教育（界）と新聞（社）が互いに連携しながら教育活動を進めていくところにある。本大会のテーマである「地域連携と NIE の可能性—社会に開かれた教育課程を見据えて—」を基調にシンポジウムでは地元紙をはじめとする新聞（社）と教育現場がどのように連携して地域社会を形成しているかを具体的な試みから他地域でも共有できるかどうかを検討し、考えてみたい。主な視点としては、①地元の新聞（社）と教育現場がどのように協力しながら NIE が行われているか、②地域社会のなかで新聞をどのように活用しているか（新聞社の協力をどのように得ているか）、③次期学習指導要領など教育課程につながる課題等を検討してみたい。同時にそこから浮かび上がってくる新聞界と教育界が抱える課題を整理しつつ、地域と結びついた NIE の可能性について考えてみたい。

コーディネーター：柳澤伸司（立命館大学）

シンポジスト

越地 真一郎（熊本日日新聞社・熊本大学）

畑 光一（信濃毎日新聞社）

宮沢 之祐（京都府向日市立寺戸中学校教諭・元神戸新聞記者）

尾高 泉（日本新聞協会・新聞博物館）

※都合により、シンポジストに変更がありました。

**研究分科会 15:45～17:45**

① **地域連携と NIE（普照館 F306）**

コーディネーター：橋本 祥夫（京都文教大学）

報告者

橋本 祥夫（京都文教大学）「小学生・中学生の新聞づくり」

鈴木 真由美（滋賀県立虎姫高等学校）「高校生の新聞づくり」

石田 浩基（京都文教大学）「大学生の新聞づくり」

NIE の代表的な活動の一つである新聞づくり。学校では、学習したことをまとめた学習新聞をつくるのがよくあるが、新聞記者となって自分で取材し、疑問に思ったことや感じたことなどを記事にし、地域に発信する新聞づくりもある。近隣地域を歩き観察することで、フィールドワークの技法を身につけ、地域を理解するとともに、新たな視点や地域の資源や魅力に気付く。このような新聞づくりは、地域への取材を通して、課題発見能力を身につけるとともに、それを「自分事」と捉え、「何をすべきか」「何ができるか」を考え、行動に結びつけるシティズンシップの涵養に寄与する。

本研究分科会では、小学生、中学生、高校生、大学生、それぞれの段階で、地域を取材する新

聞づくりの活動を比較し、どのような資質・能力が育成できるのかを議論したい。また、新聞社の地域と連携した取り組みについても交流していきたい。

## ② 主権者教育とNIE（普照館 F304）

コーディネーター：平石隆敏（京都教育大学）

報告者

中 善則（花園大学）「ベターな候補者の選択のために ～大学生と行政でつくる小学校選挙出前授業」

谷口 恵太郎（京都女子中学校）「身近に感じる日本の政治（できごと）・世界の政治（できごと）」

指定討論者

二田 貴広（奈良女子大学附属中等教育学校）

選挙権年齢の18歳引下げにともない一斉に主権者教育への取組みがなされた。しかし、選挙や投票の仕組みの学習にとどまりがちで、また高等学校以外への広がりも見えないように感じられる。その一つの原因は主権者教育の焦点が国政や選挙にかたよりすぎることではないか。むしろブレイク・スルーの鍵は「地域」にある。自分たちが生きる身近な公共的世界である地域社会から出発することで、自分事として社会の課題を発見し、解決を模索する社会の形成者を育てる主権者教育がより豊かなものとなりうるのではないか。そしてこうした学習は、まさにこれまでNIEが実践を積み重ねてきたものでもある。

本研究分科会では、こうした問題意識から、小学校・中学校での実践を手がかりにして今後の主権者教育の可能性について考えていきたい。

## ワークショップ「しんぶんカフェ」 15:45～17:45（普照館 F305）

コーディネーター：市川 正孝（愛知教育大学）

各地で始まっている「しんぶんカフェ」。新聞を愉しみながら語り合う、誰もが参加できる新聞を用いたワークショップを行う。シンポジストとして登壇された越地真一郎氏が進行役を務め、新聞について、新聞で考え、語ってみたい。

※なお、京都府NIE推進協議会の協力により、当日の新聞を複数紙用意しています。また、コーヒー、ジュースなどの飲み物やお菓子などを準備しています。気軽にご参加ください。

## 情報交換会（懇親会） 18:00～19:30（恵光館・学生食堂）

11月26日(日)

**自由研究発表 9:30～12:00 普照館**

例年通りの口頭発表スタイルでの自由研究発表です。発表者は分科会ごとに、発表20分・質疑応答10分の枠内でのスライドやレジュメを用いて研究発表を行います。

会場には、PC、スクリーン、液晶プロジェクタ、OHC、Blu-ray (DVD、CD) プレーヤーが備えつけられています。PCを使った発表では、USB (ウイルスチェック済み) を持参していただくこととしています。パワーポイントのバージョンは2016です。パソコンやタブレットを持参していただいても構いません。パソコンやタブレットと液晶プロジェクタとの接続は、アナログRGBでもデジタルHDMIでも可能です。(スクリーンへの投影はどちらか一方のみとなり、2台同時投影はできません。) 使用する機器につきましては、9:00～9:20までに、各自で接続確認を行ってください。実行委員会では機器の貸与はいたしません。

レジュメ等の補助資料を配布される方は70部ご用意ください。当日、各自でご持参いただき、9:30までに各教室の補助係にご提出ください。実行委員会では補助資料の印刷はいたしません。

発表を、万一起りやめなければならない場合は、事前に大会実行委員会までご連絡ください。なお、発表時間の繰り上げは行わない予定です。

**自由研究発表 第1分科会 普照館 F301**

司会：松岡 靖 (京都女子大学)・臼井 淑子 (横須賀市立武山小学校)

## ① 9:30～

教養教育科目でのNIEの取り組み－教育学の議論形式での活用－

村田 祥子 (群馬大学)

## ② 10:00～

防災意識を育む新聞活用授業 ～小学校理科学習の取組を通して～

田沼 正一 (群馬県伊勢崎市立境副志小学校)

## ③ 10:30～

小学校日本語学級におけるNIEの試み

○ 神部 秀一 (東京未来大学)、佐藤 久恵 (東京未来大学)、所澤 潤 (東京未来大学)

## ④ 11:00～

キャリア教育の視点を取り入れたNIE学習単元の開発と評価

○ 鎌水 遼 (大阪市立喜連北小学校)、長越 大輝 (東大阪市立縄手中学校)、森田 英嗣 (大阪教育大学)

## ⑤ 11:30～

NIE 類型論に基づく授業開発研究

池田 泰弘 (北海道釧路市立北中学校)

**自由研究発表 第2分科会 普照館 F302**

司会：野津 孝明 (国立三瓶青少年交流の家)・角田 将士 (立命館大学)

## ① 9:30～

中学生段階における新聞を活用したニュースの価値判断基準の整理と分析

○ 長越 大輝 (東大阪市立縄手中学校)、鎌水 遼 (大阪市立喜連北小学校)、森田 英嗣 (大阪教育大学)

- ② 10:00～  
新聞を活用したディベート学習事前・事後の意識調査結果  
～西郷・大久保ディベート実践を通して～  
福丸 恭伸（鹿児島市立松元中学校）
- ③ 10:30～  
学級担任が気軽に取り組めるNIE－中学校での実践－  
前野 勝彦（高松市立高松第一中学校）
- ④ 11:00～  
中学校国語科における情報活用能力の育成  
植田 恭子（大阪市立昭和中学校）
- ⑤ 11:30～  
「批判読み」によるメディアリテラシー教育の試み－ICTによる遠隔地間の協同学習を通して－  
畝岡 睦実（岡山県立岡山南高等学校）、二田 貴広（奈良女子大学附属中等教育学校）

### 自由研究発表 第3分科会 普照館 F303

司会：中田 正浩（宝塚医療大学）・尾高 泉（日本新聞協会・新聞博物館）

- ① 9:30～  
保育学科学生におけるNIE実践・児童家庭福祉教育の一考察－児童家庭福祉演習を中心に－  
○松井 圭三（中国短期大学）、今井 慶宗（関西女子短期大学）
- ② 10:00～  
新聞コミュニケーション大賞コンクール受賞者を対象にした新聞教育に関する調査結果  
○中野 美香（福岡工業大学）、下園 大貴（福岡工業大学）
- ③ 10:30～  
電子版新聞記事の閲覧行動による読者の個人特性の階層化  
中野 美香（福岡工業大学）
- ④ 11:00～  
リフレクションから検証するNIEで養われる学力  
伊吹 侑希子（京都学園中学高等学校）
- ⑤ 11:30～  
高等学校国語科における新学習指導要領での「情報活用能力」の涵養と育成  
－新聞とweb上の言説との比較を通じて－  
二田 貴広（奈良女子大学附属中等教育学校）

### 自由研究発表 第4分科会 普照館 F304

司会：柳澤 伸司（立命館大学）・有馬 進一（日本NIE研究会）

- ① 9:30～  
トランプ米国新政権における、新たなる日米関係のあり方とトランプ政権の動静推移  
山西 敏博（大阪大学大学院 博士後期課程）
- ② 10:00～  
初年次教育におけるNIE実践－読み方講座受講の意義－  
○北澤 正志（川崎医療福祉大学）、橋本 美香（川崎医科大学）、國弘 保明（川崎医療福祉大学）
- ③ 10:30～  
歴史学習におけるNIE－戦前期の新聞記事の活用－  
舟橋 弘祥（愛知教育大学大学院）



- ④ 11:00～  
戦後初期の高校新聞が教えることー市民性教育との関連でー  
鍛冶 直紀（大阪大学大学院人間科学研究科後期課程）
- ⑤ 11:30～  
新聞投書欄を活用して、政治的リテラシーを育成する主権者教育の研究  
ー第6学年 政治単元「どこがゴール？広島市新サッカー場建設問題」の場合ー  
神野 幸隆（広島大学大学院）

### 自由研究発表 第5分科会 普照館 F306

司会：越地 真一郎（熊本日日新聞社・熊本大学）・平石 隆敏（京都教育大学）

- ① 9:30～  
記者体験活動により地域の子どものためのシティズンシップを育成する研究  
橋本 祥夫（京都文教大学）
- ② 10:00～  
岡垣歴史新聞プロジェクト～大学と自治体の地域連携事業～  
山田 明（九州共立大学）
- ③ 10:30～  
地域連携とNIEの進展と課題ーNIE研究会と子ども佐賀新聞の取組をととして  
光武 正夫（唐津市立厳木中学校）
- ④ 11:00～  
連載記事を活用した大学におけるNIE授業の開発  
ー「海に聞く 瀬戸内再生」（中国新聞）の実践化ー  
小原 友行（福山大学）
- ⑤ 11:30～  
妥当性の根拠に新聞はなり得るか 地震からの2年目の熊本からの発信  
笹原 信二（熊本市立龍田小学校）

### Ⅲ 大会参加登録 集金

大会参加登録は、今回は Web にて受け付けます。

日本NIE学会ホームページのトップ画面にある「第14回宇治大会事前参加登録はこちら」ボタンよりご登録ください。

登録締切は **10月23日（月）** です。（早目の申し込みにご協力ください。）

自由研究発表をされる方も、必ず大会参加登録をお願いします。

参加登録後、**10月30日（月）**までに参加費をお振込ください。

参加の申し込みおよび参加費の振込みの両方が完了した時点で事前登録完了となります。

期限内に参加費の振込みをされなかった方については、当日申し込みの参加費となります。

なお、大会参加登録・集金業務については、株式会社コムラへ委託しております。

## 振込先

・郵便局からの振替の場合

【加入者名】 株式会社コムラ

【口座記号番号】 00860-2-188506

・他の金融機関からの振込の場合

【銀行名】 ゆうちょ銀行

【店名】 ○八九 店（ゼロハチキユウ店）

【店番】 089

【預金種目】 当座

【口座番号】 0188506

【口座名称】 株式会社コムラ

※ お振込後に参加をキャンセルされた場合、お振込いただいた費用は返金いたしかねますので何卒ご了承ください。

※ 大会参加費、情報交換会（懇親会）参加費の領収書は、大会当日、受付にてお渡しします。

---

問い合わせ先 ※大会参加登録・集金業務については、株式会社コムラへ委託しております。

株式会社コムラ 担当：後藤・可知・関谷

〒501-2517 岐阜県岐阜市三輪ぷりんとぴあ3

E-mail : nie14@kohmura.co.jp 【@は半角にして下さい】

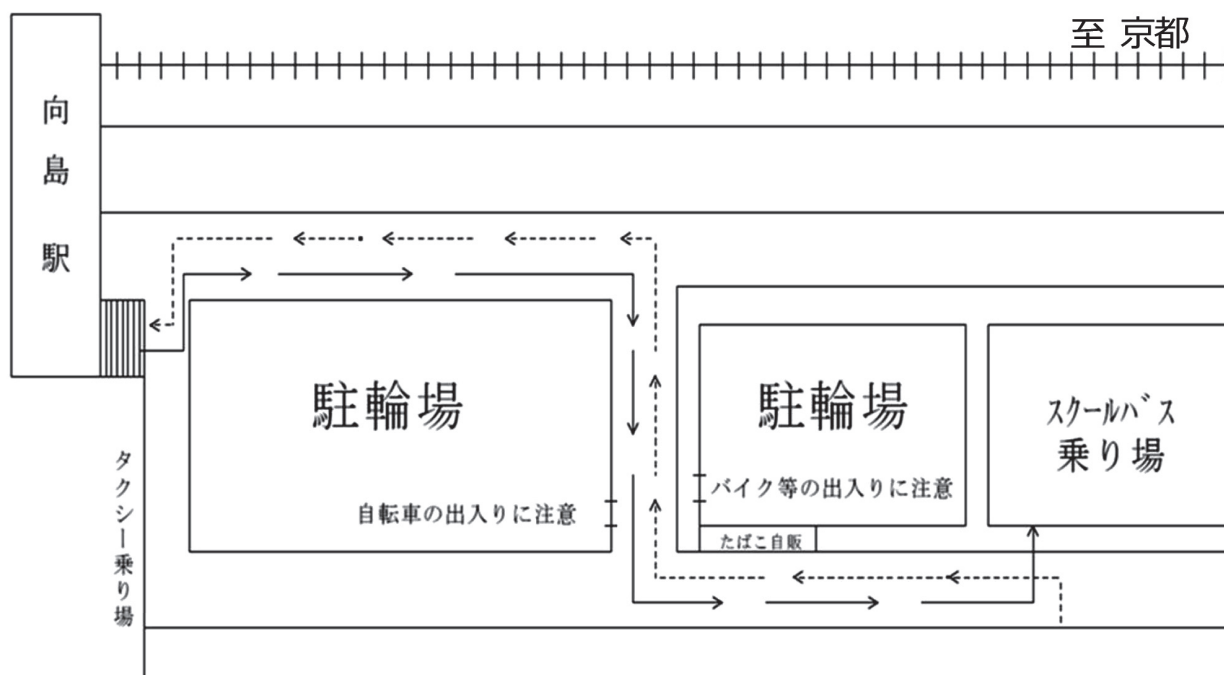
TEL : 058-229-5858

---

## IV 交通案内・宿泊・その他

- ◎ アクセスについては本学ホームページ (<http://www.kbu.ac.jp/kbu/index.html>) をご参照ください。
- ◎ 自家用車の入構はできません。公共交通機関をご利用ください。
- ◎ 最寄りの駅は近鉄・向島駅です。準急・各駅停車しか止まらないのでご注意ください。
- ◎ 向島駅と大学間は無料のスクールバスが出ています。駅から北へ徒歩すぐの所にスクールバス停留所があります。ご利用ください。また、懇親会終了後、向島駅行きの臨時スクールバスが出ますので、懇親会参加の方はご利用ください。なお、定員に限りがありますので、ご乗車をお考えの方は、時間に余裕を持って、早目のご利用をお願いします。
- ◎ 25日は、補習・補講日となっております授業がありますので、スクールバスは複数台運行しています。大会参加者の利用が多いと想定される10時～13時までは、バスに乗り切れない方が出た場合、連続でバスを運行します。
- ◎ 26日は、他の校舎使用の予定はなく、本大会のために臨時でスクールバスを出します。そのため、1台のみの運行になりますので、20分間隔でしかバスは来ません。向島駅発9時10分のバスは混雑が予想されますので、8時30分や8時50分のバスのご利用もお願いします。
- ◎ 向島駅では近隣との取り決めに従い、向島駅とスクールバス乗り場の間の通学路が指定されています。以下の道順でご利用いただきますようお願いいたします。





- ◎ 向島駅からタクシーで約5分です。駅前にタクシー乗り場がありますが、台数はそれほど多くはありません。タクシーをご利用の場合、京都方面からは近鉄の桃山御陵前駅、大阪、奈良方面からは近鉄の大久保駅でタクシーをご利用いただくと便利です。両駅とも急行が停車し、タクシーの台数も多いです。桃山御陵前駅から大学までは約3km、大久保駅から大学までは約5kmです。
- ◎ 近鉄向島駅から大学までは徒歩で約20分です。
- ◎ シンポジウムの会場（弘誓館 G101）は、12時30分から13時30分まで総会をしています。総会に参加されない参加者の方は、総会が終了するまで、参加者控室の弘誓館 G102でお待ちください。大会参加費の軽減のため、参加者控室には湯茶等を用意いたしません。各自でご用意ください。会場付近に飲料の自動販売機がございますので、ご利用ください。
- ◎ クローク等のご用意いたしません。大きな荷物などは参加者控室に置いていただくことは可能ですが、実行委員会では管理はしませんので、自己責任でお願いします。
- ◎ 1日目のワークショップで使用する普照館 F305には、新聞と湯茶等が用意してあります。2日目も開放していますので、休憩等でご自由にお使いください。新聞は自由に持ち帰っていただいてもかまいません。
- ◎ ゴミの持ち帰りにご協力ください。
- ◎ 宿泊施設は、各自で手配していただきますようよろしくお願い申し上げます。この時期は秋の観光シーズンで、京都市内は混雑が予想されます。早めにご予約されますことをお勧めいたします。また、近くの奈良、滋賀、大阪なども含めてご検討ください。
- ◎ 大会終了後の巡検等は準備しておりません。各自京都観光をお楽しみください。また、この機会に、是非、宇治の観光をお楽しみください。京阪宇治駅、JR宇治駅の周辺は、世界遺産の平等院鳳凰堂を始め、歩いて見て回れる観光スポットがたくさんあります。
- ◎ 受付
  - (1) 一日目と二日目で受付場所が異なりますので、ご注意ください。一日目は常照館1階ホール、二日目は普照館1階ホールが受付となります。
  - (2) 受付は「事前受付」と「当日参加受付」の2つに分かれています。大会参加申し込みをされた方は、「事

前受付」にお越してください。事前申し込みをされていない方は、「当日参加受付」にお越してください。  
なお、事前受付をされた方の発表要旨集録集は確保しますが、当日受付の場合、発表要旨集録集が足りなくなり、お渡しができなくなる場合があります。参加ご希望の方は、できるだけ事前申し込みをお願いいたします。

## V 日本NIE学会第14回宇治大会実行委員会 連絡先

〒611-0041 京都府宇治市横島町千足80  
京都文教大学臨床心理学部教育福祉心理学科  
日本NIE学会第14回宇治大会実行委員会 橋本祥夫  
TEL：0774-25-7824（橋本研究室）  
Fax：0774-25-2409（学部共用）  
E-mail：y-hashimoto@po.kbu.ac.jp

# スクールバス発車時刻表

日本NIE学会第14回宇治大会特別ダイヤA

11/25(土)

時間	宇治キャンパス発			向島駅発		
8				10	20	(随時運行) 50
9				10	30	50
10			45	10	30	50
11	05	25	45	10	30	50
12	05	25	45	10	30	50
13	10		40	15		45
14	10		40	15		45
15	10		40	15		45
16	15	35	55	20	40	
17	10	30	50			
18	10	30	50			
19	10	30	50			
20	10	30				

(注1) 発車時間は交通事情等によって遅れる場合があります。

(注2) 本学の休業日、定期試験期間、入試日等の期間に付いては、その都度変更し、ご案内致します。

(注3) 休日・祝日は運行致しません。

(注4) 特別ダイヤの最終便は宇治キャンパス 20:30発 です。

(注5) スクールバスダイヤは本学のホームページから確認できます。

URL : <http://www.kbu.ac.jp/kbu/bus/index.html>

※定員に限りがありますので、時間に余裕をもってご利用ください。

## スクールバス発車時刻表

日本NIE学会第14回宇治大会特別ダイヤB

11/26(日)

時間	宇治キャンパス発	向島駅発
8		10 30 50
9		10 30 50
10	35	10 40
11	10 40	15 45
12	15 35 55	20
13	15 35	
14	00	
15		

(注1) 発車時間は交通事情等によって遅れる場合があります。

(注2) 本学の休業日、定期試験期間、入試日等の期間に付いては、その都度変更し、ご案内致します。

(注3) 休日・祝日は運行致しません。

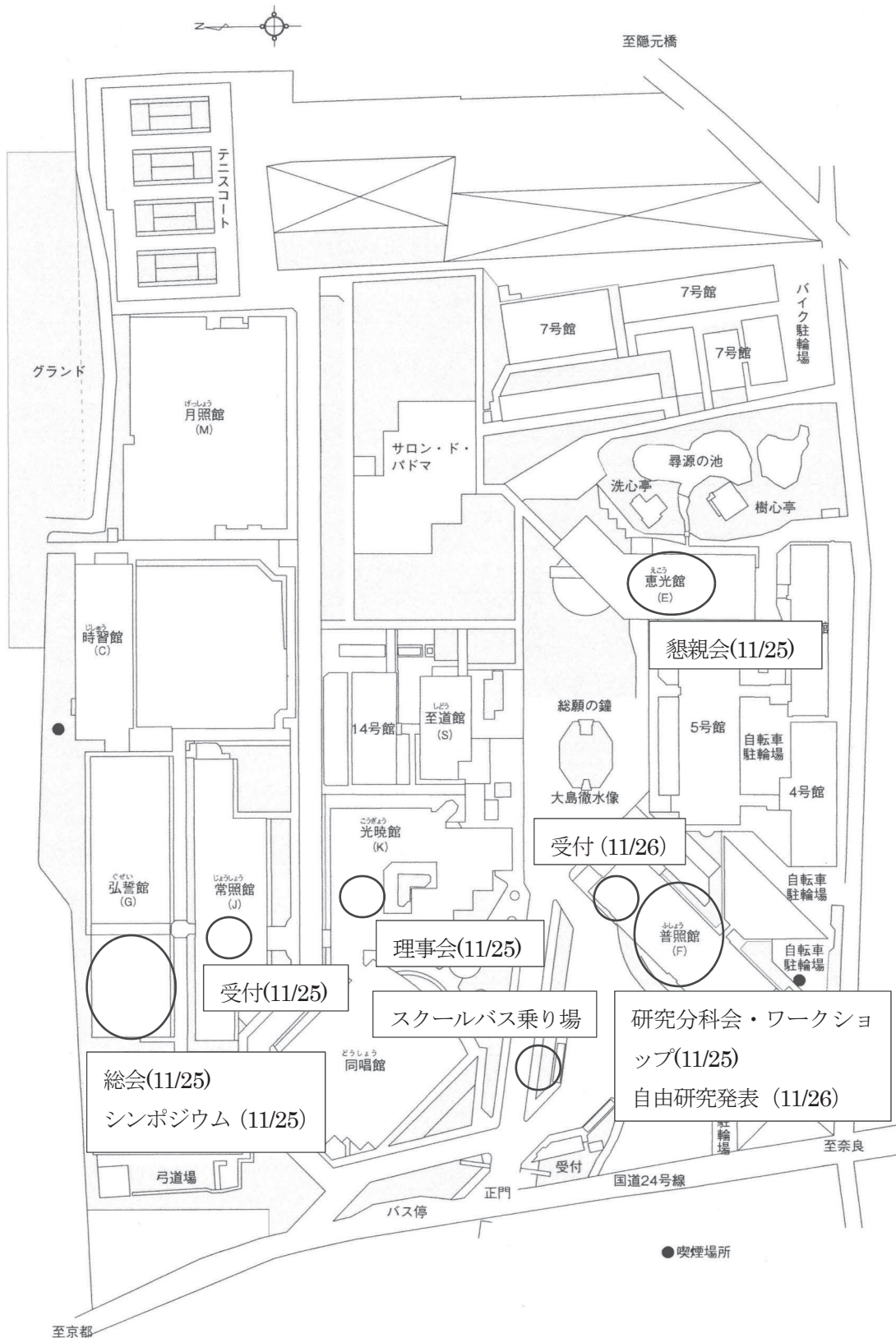
(注4) 特別ダイヤの最終便は宇治キャンパス 14:00発 です。

(注5) スクールバスダイヤは本学のホームページから確認できます。

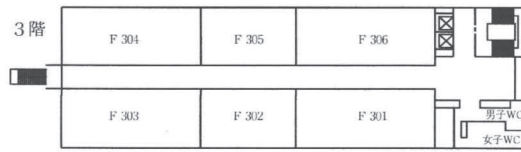
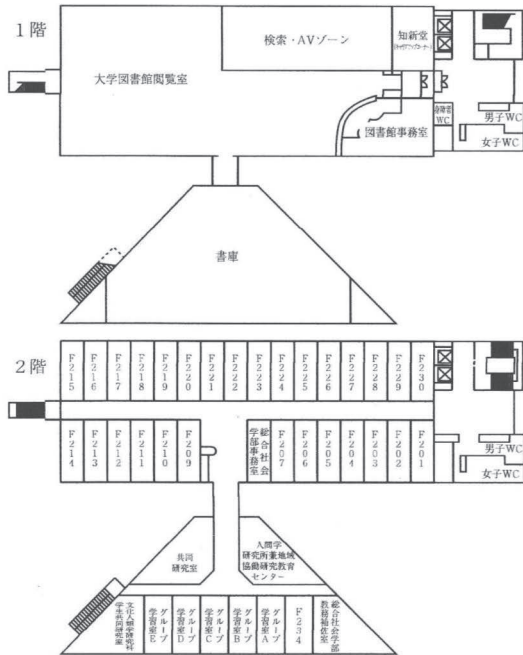
URL : <http://www.kbu.ac.jp/kbu/bus/index.html>

※定員に限りがありますので、時間に余裕をもってご利用ください。

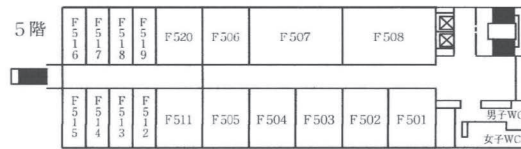
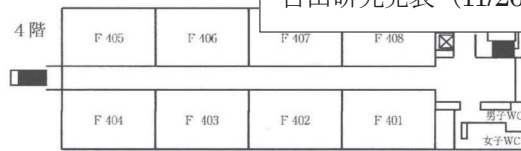
京都文教大学宇治キャンパス内案内



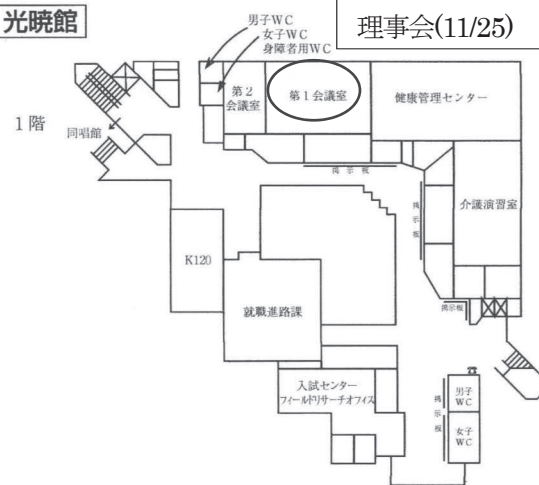
**普照館**



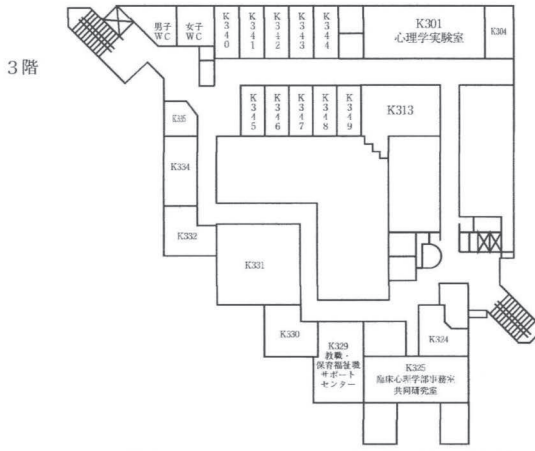
研究分科会・ワークショップ(11/25)  
自由研究発表 (11/26)



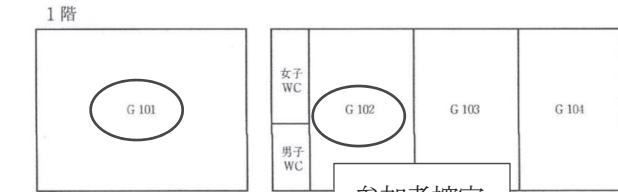
**光暁館**



理事会(11/25)



**弘誓館**



参加者控室

総会(11/25)  
シンポジウム (11/25)